

PMI-ACP®資格認定試験申請要件 Rel.1.1

受験前後の流れ

申請者が申請書のサブミット

申請書作成開始から 90 日以内にサブミットを完了する。

PMI にて受領申請書の内容完成度のレビュー

オンラインでサブミットの場合、期間は 10 日前後。

受験料の支払い

PMI から受験料支払い依頼のメールが送られてくる。(支払い完了まで試験予約はできない)

監査

受験申請者からランダムに抽出し、監査対象者が出る。

監査対象となった場合、対象となった日から 90 日以内に指定された追加資料を PMI に送付 (国際郵便)。 監査終了後、PMI が監査追加資料受領後、追加資料に問題なければ 5-7 日までに受験可能 ID を送る。(再度不可となる場合もある)

受験可能通知

支払い完了後、受験可能 ID が PMI から送られてくるので、この日から試験予約が可能となる。

(監査対象となった場合、監査通過後に ID が送られてくる。この日から試験予約が可能となる) ID 発行日から 1 年間に限って受験が可能となり、1 年間に 3 回まで受験が可能だが、3 回とも不合格だった場合、最終不合格日から 1 年間は受験申請は受け付けてもらえない。

資格認定

試験に合格し資格認定された日から資格認定期間が開始される。

資格認定の更新

ACP 用に認定された 3 OPDU*を取得し、PMI に登録。登録 PDU が PMI に承認されたら更新料を支払う。*: 研修提供機関に確認する。これにより次の更新サイクルへ資格を継承できる。

資格認定のサスペンド

3 年間の更新期間内に何らかの理由で更新できなかった場合、更新期日より 1 年間のサスペンド期間に入る。この期間内に、更新手続きを完了し、更新料を支払ったら資格が復帰できる。サスペンド期間は資格認定者ではない。復帰までにかかった期間も復帰後の更新期間として扱われる。復帰が遅れるほど、復帰後の更新期間は短くなる (最長 1 年短縮)。

資格認定喪失

1 年間のサスペンド期間に何らかの理由で更新ができなかった、資格認定は取り消される。再度資格認定を受けたい場合、新規に試験申請から手続きが必要。この場合、前回の認定で取得済みの公式研修時間は再利用できる (今後、変更される場合がある)。

PMI-ACP®資格認定試験申請要件 Rel.1.1

PMP®やPgMP®資格者の場合

下記表、2. 通常のプロジェクト経験に関する要件 2,000 時間（最短 12 ヶ月）は免除される。

1. 学歴	高等学校卒業以上
2. 通常のプロジェクト経験	直近 5 年の間に 2,000 時間（最短 12 ヶ月）のプロジェクト経験を有すること。
3. アジャイルプロジェクト経験	直近 3 年の間に 1,500 時間（最短 8 ヶ月）のアジャイルの方法論を適用したプロジェクト経験を有すること。 1,500 時間は 2 の 2,000 時間に加えての要件となる。どちらか一方では無い。
4. アジャイル公式研修	21 時間のアジャイルに特化した公式研修の受講が要件。 21PDU ではない、21Contact Hours が出せる研修。 プロジェクトマネジメントの一般的な研修では該当しないものがあるので要注意。 事前に、研修提供機関に該当するかどうか確認することを薦める。 アジャイル公式研修に、 - アジャイルの「思想、手法、方法論、実践ワークショップ」も含まれる - 研修提供機関には R.E.P、PMI 支部、PMI CoP（コミュニティー・オブ・プラクティス、大学などで提供されるアジャイル研修がある - 自習は該当しない

5. 受験申請書送付と受験料支払 オンラインで申請しカードで支払う手順

- 上記要件を基に受験申請書（アプリケーション・フォーム）を完成させる

<http://www.pmi.org/Certification~/media/PDF/Certifications/PMI-ACP-Print-Application-Forms.ashx>

上記リンクからフォームをダウンロードし、事前に入力してみることを、次にそれを参照しオンライン画面で入力する

- オンラインで申請書をサブミット→ PMI が受領後 10 日間で申請内容確認を完了する
- 申請内容確認後、受験料支払い通知と LINK が送られてくる
- PMI 会員または一般のカテゴリーで指定された受験料を LINK から支払う

受験料	PMI 会員	一般
初回	435 ドル	495 ドル
再試験・再々試験	335 ドル	395 ドル
資格更新料（3 年毎）	60 ドル	150 ドル

PMI-ACP®資格認定試験申請要件 Rel.1.1

6. 受験料の返金について

受験可能期間終了 (Eligibility 適用期限) の最遅 30 日前までに受験しないことを PMI に連絡した場合 [ただし、一度も受験していない場合のみ適用]	200 ドルの返金
監査不合格	200 ドルの返金
上記以外	返金はされない

7. 監査について

PMI はランダムに抽出した受験申請書について監査対象とし、下記のような追加の資料を申請者に提出を求めることがある

(監査対象となった場合、通知日より 90 日以内に国際郵便にて、下記 PMI 宛先に送付)

1	卒業証明書のコピー	できれば英語の証明書、無ければ自分で英訳を付記した証明書
2	サイン	・実務経験に記載されたプロジェクトを管轄する上長またはプロジェクト・マネジャーの確認サインを取得 ・サインした方の連絡先 (e-mail と電話番号) を付けること
3	公式研修受講証明書	21 Contact Hours 分の受講証明書のコピー
4	その他	上記に加え、監査通知書に記載されたもの
監査資料に関する注意		1. 英語または英語付記の資料を送ること 2. サインした方へ PMI から確認の連絡を入れることがある
監査資料送付先 (変更される場合あり、 監査通知書を自分で確認 すること)		PMI Attn: Certification Audit 14 Campus Blvd. Newton Square, PA 19703-3299 USA
提出後		PMI は提出を受けた監査資料を 5 日~7 日営業日で精査し、監査合格か不合格かを判断する
合格の場合		合格日から 1 年間の受験可能期間 (Eligibility period) が開始
不合格の場合		200 ドルの返金がないが受験資格はない
監査権限の保持		PMI にはいつでも監査する権限がある これは、受験資格を承認した後や、試験に合格し PMI-ACP 資格を取得した後も対象となり得る。最悪の場合、資格者が監査対象となり、監査不合格の判断が下された場合、その資格は無効となる。

PMI-ACP®資格認定試験申請要件 Rel.1.1

8. Exam Eligibility	5. を満たした場合、下記3つの情報が記載された受験資格付与メールが送付される [7. を通過した場合も同様]	
①	Eligibility ID (エリジビリティ ID : 受験資格 ID) Eligibility ID は最後 E で終わる数字 例: 1234567E1	
②	エリジビリティの開始日と終了日 有効期間:1 年	
③	試験予約のガイド <ul style="list-style-type: none"> • 試験の予約はプロメトリック社の下記サイトから各自が行う • 予約可能かどうかは希望日の混み具合によるので要注意 • プロメトリックのサイト -> http://g.msn.com/1me10IE8JAJp/301 	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • 予約は電話でのみ対応 • 試験問題は英語 (補助言語として日本語指定はできません) • 不明点は 03-5541-4800 へ [平日 9:00-18:00] 	
9. 試験情報	試験に入る前のチュートリアルと試験後のサーベイが設けられている。所要時間は最長 15 分、下記試験時間とは別。	
試験問題数	全 120 問	
	可否に関するもの 100 問	可否に無関係 20 問
試験時間	3 時間	
出題	ツールと技法	アジャイルに関する知識とスキル
	50%	50%
10. 取消し、変更	予約済み試験の取消し、変更については下記ポリシーが適用される	
30 日前ポリシー (例 : 5/5 が試験日)	4 月 4 日まで	4 月 5 日以降
	追加費用は不要	カードに 70 ドル請求される
2 日前ポリシー (例 : 5/5 が試験日)	5 月 2 日まで	5 月 3 日以降
	試験料から 70 ドルが戻る	試験料の返還は無い
取消手続き	http://it.prometric-jp.com/guide/guide_tel.html	
予約変更手続き	http://it.prometric-jp.com/guide/guide_tel.html	